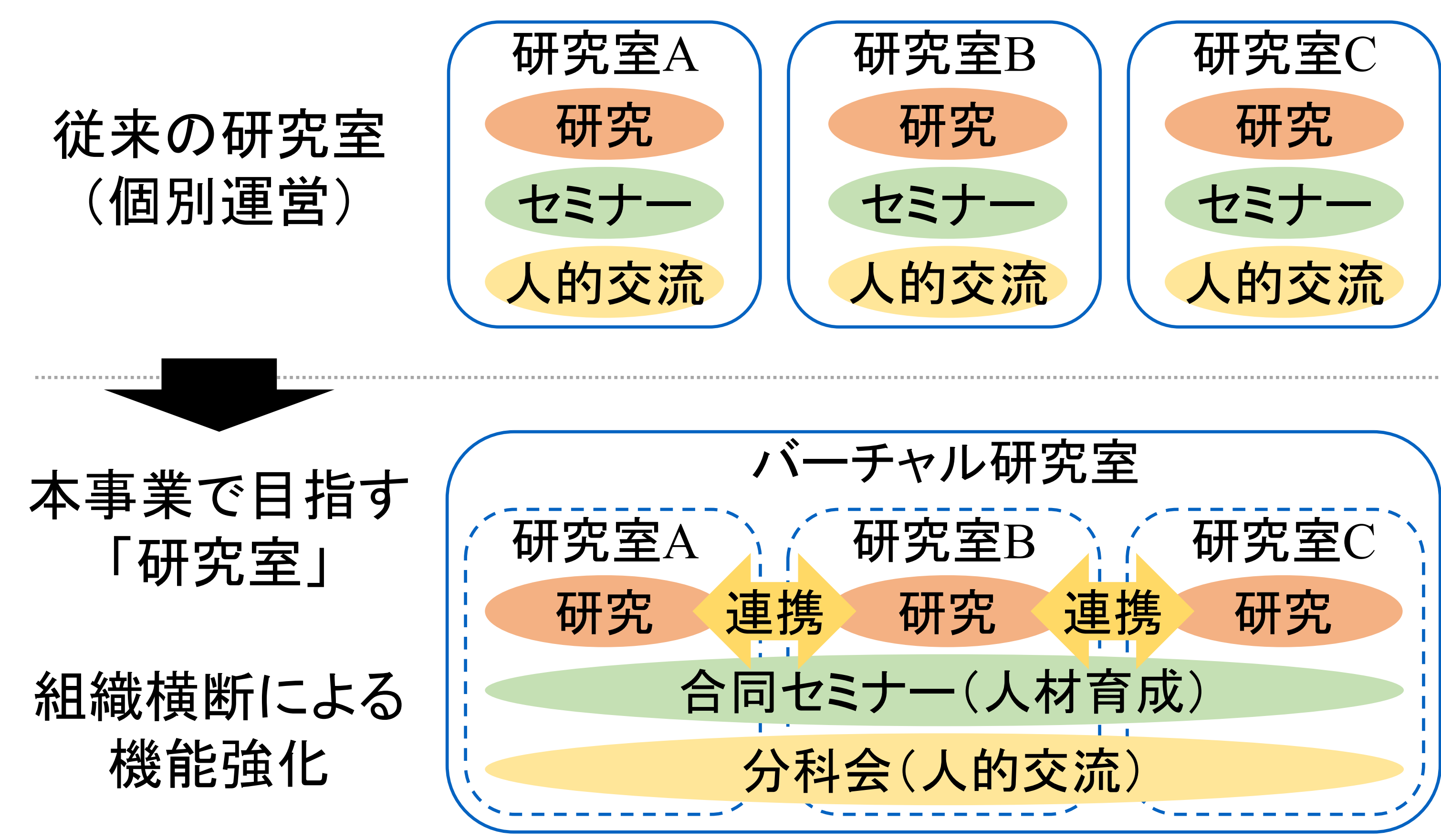
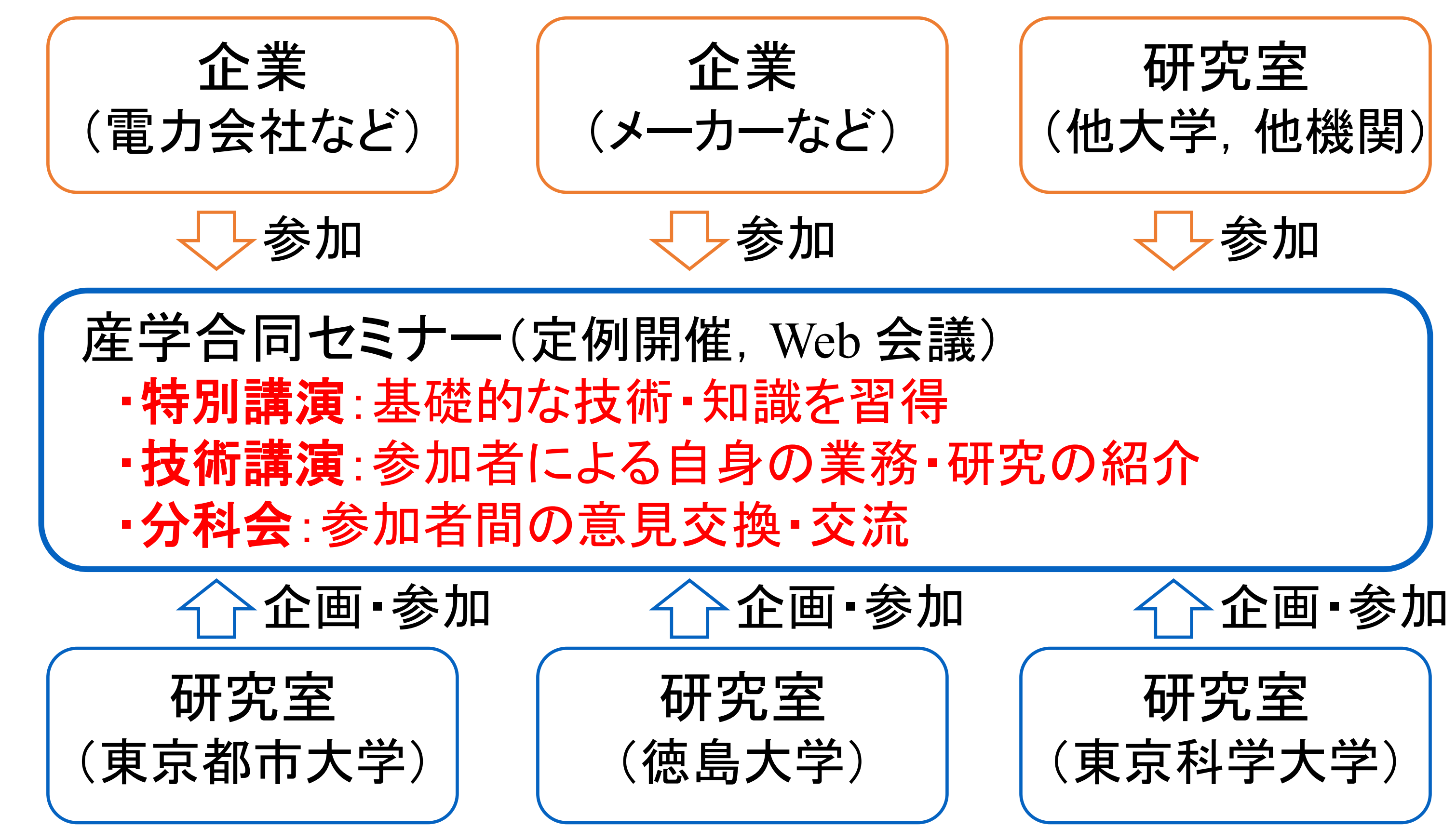


■事業の目的・目標

- 【背景】日本では直流送電分野の技術者が不足
- 【目的・目標】組織を横断して、直流送電技術や電力系統用パワエレ技術の研究教育拠点形成をめざす



- 【手段】定例の無料公開講座「産学合同セミナー」を中心とした人材育成・交流促進。2021年度開始。



■2025年度の主な成果

- 【セミナー開催】ウェブ会議5回，対面1回を開催。18件の講演と2月には事業総括，99機関より391名が登録，延べ参加者数498名。

- 講演者・題目の例（一部）：
- 東京科学大学 准教授（当時） 萩原 誠 氏「モジュラー・マルチレベル・カスケード変換器の構成と応用」，2025年4月

長岡技術科学大学 教授 三浦 友史 氏「系統連系インバータの種類とVSGインバータ」，2025年6月

名古屋大学 特任助教（当時） 中村 綾花 氏「再生可能エネルギー導入拡大に向けた多端子直流送電システムの運用および制御手法に関する研究」，2024年6月

環境エネルギー技術研究所 工学院大学 名誉教授 荒井 純一 氏「電力系統におけるインバータの適用とその制御」，2025年10月

広島大学大学院 先進理工系科学研究科 関崎 真也 氏「grid-forming電力変換器に関する研究動向」，2026年12月



2024年8月対面開催の産学合同セミナーのようす

- 【講演ビデオ配信】特別講演の内容をYouTubeの@J-HVDCチャンネルで配信。2026年6月現在は，動画14本，総視聴回数34,514回，登録者数433人。



- 【シミュレーション勉強会】2024年度に続いて，協力企業の支援により，電力用パワーエレクトロニクスに関する解析業務の体験とツールの実習を実施。2025年度は5日間にわたって3大学3企業1団体から13名が参加して，専門的で実務に近い内容であり有意義との評価を得た。

■実用化・事業化の見通し

本事業を通して双方の理解が促進され，学生のキャリア形成や関連産業への就職に一定の影響を与えることができた（参画研究室修了生のうち，電機メーカー33%，電力会社24%）。企業と学生の接点創出に繋がる人材育成・人的交流の事業形態のひとつと言えるのではないかと。

当該分野の**人材育成・人的交流**の活性化にご賛同いただける**企業を募集中**

東京都市大学 中島 達人
徳島大学 北條 昌秀
東京科学大学 佐野 憲一郎



のいずれかまでご連絡ください